

第4次農林水産業元気創造戦略 令和5年度の主な取組み

テーマ① 担い手確保について

農業の担い手育成・確保支援プロジェクト(PJ1)	農業経営・所得向上推進課	・ ・ ・ ・ 1
多様な人材確保・充実プロジェクト(PJ2)	農業経営・所得向上推進課	・ ・ ・ ・ 2
次代を担う農業女子育成プロジェクト(PJ3)	農業技術環境課	・ ・ ・ ・ 3
専門職大学設置プロジェクト(PJ4)	専門職大学整備推進課	・ ・ ・ ・ 4
次世代人材の定着に向けた園芸団地形成推進プロジェクト(PJ13)	園芸大国推進課 / 農村整備課	・ ・ ・ ・ 5
地域で支える畜産生産基盤強化プロジェクト(PJ33)	畜産振興課	・ ・ ・ ・ 7
林業を支える人材育成と事業体強化プロジェクト(PJ50)	森林ノミクス推進課	・ ・ ・ ・ 8
海面漁業の成長産業化に向けた経営基盤強化プロジェクト(PJ60)	水産振興課	・ ・ ・ ・ 9

テーマ② 農林水産物の高付加価値化について

山形さくらんぼ世界一ブランド強化プロジェクト(PJ23)	園芸大国推進課	・ ・ ・ ・ 10
県産銘柄豚評価向上・販路拡大プロジェクト(PJ36)	畜産振興課	・ ・ ・ ・ 11
県産鶏肉等生産・販路拡大プロジェクト(PJ37)	畜産振興課	・ ・ ・ ・ 12
6次産業化による多彩なアグリビジネス振興プロジェクト(PJ43)	県産米・農産物ブランド推進課	・ ・ ・ ・ 13
6次産業化推進基盤強化プロジェクト(PJ44)	県産米・農産物ブランド推進課	・ ・ ・ ・ 14
県産木材の加工流通体制強化と付加価値向上プロジェクト(PJ56)	森林ノミクス推進課	・ ・ ・ ・ 15
県産木材利用推進プロジェクト(PJ57)	森林ノミクス推進課	・ ・ ・ ・ 16
県産水産物の利用拡大プロジェクト(PJ62)	水産振興課	・ ・ ・ ・ 17

【基本戦略1 意欲ある多様な担い手の育成・確保】 戦略分野①人材の育成・確保 ～次代を担い、地域を支える新規就農者と東北・山形の農業を支える人材の育成～

農業の担い手育成・確保支援プロジェクト(PJ1)

【目標指標】

目標指標	現状値 (H29～R2 年度)	R3年 実績値	R4年 実績値	R5年 目標値	R6年 目標値
新規就農者数 (4年間の累計)	1,354人	357人	715人	1,090人	1,460人

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

<令和4年度の主な取組状況>

- 山形県農業経営・就農支援センターを開設し、就農意欲の喚起から就農定着、経営発展までの各段階に応じたプログラムで支援
- 県独自事業による経営安定化に向けたソフト・ハード両面からのオーダーメイド型支援の実施
- 国の農業次世代人材投資資金や新規就農者育成総合対策、県単独事業等による就農・定着支援
- やまがた農業経営実践塾(R2)を卒塾した優良農業法人のPR動画を作成し、SNS等を活用して情報発信

<令和4年度の取組みの評価・課題>

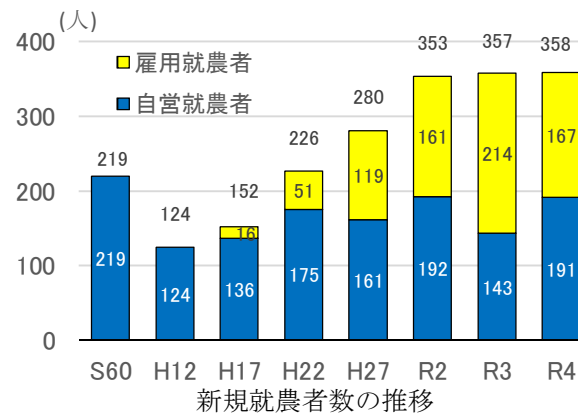
- 新規就農者数は、358人となり目標を概ね達成したが、基幹的農業従事者数の減少(年間約1,400人)を補完するには至っていないため、新規就農者を育成・確保するきめ細かな支援が必要
- 新規参入者(非農家出身者)が59人と過去最多となったことから、移住・定住施策と合わせた就農支援を展開するとともに、関係機関と連携し、就農から定着まで支援が必要
- 異業種の企業から農業参入の相談があった場合は、営農開始の状況までフォローアップが必要

【今後の推進方向】

- 就農意欲の喚起から就農定着、経営発展までの各段階に応じたプログラムでの支援
- 経営基盤強化に向けた補助事業の活用や専門家派遣、やまがた農業リーダー塾の開催などにより、経営発展の取組みを支援
- 農業に関わる多様な人材を確保し、地域農業の維持・発展につなげるため、移住関連施策と合わせ、他地域からの移住・定住から就農、定着までを支援

【令和5年度の主な取組み】

- 山形県農業経営・就農支援センターにおいて、関係機関と連携して就農相談から経営発展まで一元的に支援
- 県外からの移住者等を対象とする就農・移住体験への支援や、経営継承支援体制の整備に向けた市町村や新規就農者受入協議会等への支援
- 国の農業次世代人材投資事業や新規就農者育成総合対策、県独自事業等による就農・定着支援
- 「儲かる農業」を実践する農業者の鼎談動画やSNS等を通して山形県の農業の魅力を発信して山形での就農意欲を喚起



朝日町に移住し、農業で生活する楽しさ、地域の温かさを紹介する動画を配信

【基本戦略1 意欲ある多様な担い手の育成・確保】 戦略分野①人材の育成・確保 ～次代を担い、地域を支える新規就農者と東北・山形の農業を支える人材の育成～

多様な人材確保・充実プロジェクト(PJ2)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R2年)	R3年 実績値	R4年 実績値	R5年 目標値	R6年 目標値
無料職業紹介所等におけるマッチング数	585件	397件	392件	700件	750件
農福連携に取り組む経営体数	59組織	85組織	90組織	90組織	100組織

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

＜令和4年度の主な取組状況＞

- 山形県農業労働力確保対策実施協議会と2つのワーキングチームを設置し、多様な人材の確保による労働力確保の取組みを実施
- JA無料職業紹介所等の窓口に加え、アプリを活用した「やまがた農業ぷちワーク」により求人・求職のマッチングを推進
- 県職員が副業としてさくらんぼ作業に従事できる「やまがたチェリサポ職員制度」を導入
- 他産地（九州地区）や他産業企業と連携した、農作業受委託による労働力確保の実施
- 研修会や農業体験会を開催し、農福連携マッチングを推進

＜令和4年度の取組みの評価・課題＞

- 「やまがた農業ぷちワーク」は、副業等、潜在的な労働力確保に効果があり、求人数を増やすため農業者側への周知が必要
- 他産地・他産業と連携した多様な人材の掘り起しが進んでおり、受入農家側の労働環境改善に向けた意識啓発や理解促進が必要
- 障がい者施設への作業委託に不安を抱いている農業者が多いため、農福連携の普及啓発の継続が必要

【今後の推進方向】

- 山形県農業労働力確保対策実施協議会及びワーキングチームの体制を見直し、地域の声を広く取り入れつつ、品目を限定しない農作業全般に関する労働力確保の取組みを展開
- これまでの取組みの成果と課題を検証し、より実効性のある取組みを重点的に実施

【令和5年度の主な取組み】

- 園芸品目に限らない幅広い品目での労働力確保の取組みを展開
- 首都圏から多様な人材を呼び込み、労働力確保や関係人口創出につなげる「農作業受委託モデル」を展開
- 「やまがた農業ぷちワーク」の取組みを、農業者・働き手双方へのさらなる周知により推進
- 県職員が副業としてさくらんぼ作業に従事できる「やまがたチェリサポ職員制度」の継続
- 働き手向けの作業のマニュアル化や、農業者への労務管理研修開催等による、働きやすい環境づくりの推進と潜在的な労働力の掘り起こし
- 農福連携プロジェクトチームの活動による、障がい者が農業分野で活躍できる環境づくりの推進、マッチング数の増加

令和4年度daywork活用実績
(令和5年3月末時点)

利用者の状況	
農業者	380人
働き手	1,543人
マッチングの状況	
求人数	8,191人日
成立数	6,685人日
成立率	82%



【基本戦略1 意欲ある多様な担い手の育成・確保】 戦略分野①人材の育成・確保 ～次代を担い、地域を支える新規就農者と東北・山形の農業を支える人材の育成～

次代を担う農業女子育成プロジェクト(PJ3)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R4年度)	R3 目標値	R4 目標値	R5 目標値	R6 目標値
しあわせアグリ ビジネスプラン 件数(累計)	97件	84件	92件	100件	108件

※しあわせアグリビジネスプラン: 女性が主体的に農業経営に参画するビジネスプラン

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

＜令和4年度の主な取組状況＞

- 女性農業者のリーダー育成
 - ・次世代リーダー育成セミナー「アグリウーマン塾」を開催し、11名が修了
 - ・「農業版戦略マネジメントゲーム」研修の実施
- 農業経営における女性の活躍促進
 - ・アグリウーマン塾修了生の現地視察交流研修の実施
 - ・農業経営者等を対象に、農業での女性活躍に向けた理解促進を図るための研修会を開催
- 女性農業者のネットワークへの支援
 - ・やまがた女性農業者応援・相談窓口で農業とくらしに関する相談にワンストップで対応
 - ・女性農業者の働き方改革、地域ネットワークづくり等の取組みを支援

＜令和4年度の取組みの評価・課題＞

- ・将来の地域農業をリードする、経営力を備えた女性農業者の育成・確保を図るため、今後も女性農業者向けセミナー等を実施していく必要がある
- ・ビジネスプランの実行支援を通じて、モデル的な経営体の育成を図り、県内女性農業者の活躍を後押しする環境を整える必要がある
- ・女性が相談しやすいワンストップ相談窓口の設置に加え、女性の働き方改革につながるネットワークづくりを今後も支援していく必要がある



アグリウーマン現地視察交流研修



わくわくアグリカフェin置賜

【今後の推進方向】

- ・経営者・経営参画者として経営の発展強化に貢献する農業者を育成するための研修を実施
- ・意欲的な女性農業者のビジネスプランの実現を後押しする研修を実施
- ・交流会や意見交換会等を通して、農村女性が働きやすい(学べる)環境づくりに向けた意識・意欲の醸成を図る

【令和5年度の主な取組み】

- ・次世代リーダー育成セミナー(基礎コース、実践コース)の実施
- ・やまがた女性農業者応援・相談窓口で女性農業者の相談にワンストップで対応

【基本戦略1 意欲ある多様な担い手の育成・確保】 戦略分野①人材の育成・確保 ～次代を担い、地域を支える新規就農者と東北・山形の農業を支える人材の育成～

専門職大学設置プロジェクト(PJ4)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R2年度)	R3年度 実績値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
東北農林専門 職大学(仮称) の令和6年4月 開学	—	—	認可申請	認可	開学 (入学者 40名)

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

<令和4年度の主な取組状況>

- 基本計画検討委員会を2回開催し、令和4年9月14日開催の委員会において、基本計画最終報告を決定
- 令和4年10月20日、文部科学省に大学設置認可申請書を提出
- 大学校舎の建築工事に令和4年7月から着工
- 果樹分野の附属研究施設の建築工事に令和4年10月から着工、その他の附属研究施設の設計を実施
- 学生及び教員の住環境の整備について、最上地域の市町村及び最上総合支庁と連携して検討を実施
- 専門職大学開学に向けた県内の気運醸成を図るため、各種団体の会合等へ出向き、専門職大学の概要等について説明
- 附属農林大学校機能強化プロジェクトチームにおいて「附属農林大学校機能強化方針」を作成し、令和4年5月25日開催の基本計画検討委員会に報告

<令和4年度の取組みの評価・課題>

- 東北農林専門職大学(仮称)の令和6年4月開学に向けた準備が、概ねスケジュールどおり進捗

【今後の推進方向】

- 文部科学省の設置認可審査への対応や大学キャンパスの整備を引き続き実施
- 教務、学生支援、入学者選抜など、開学に向けた準備を着実に推進
- 学生の確保に向けて、専門職大学の広報を実施
- 農林大学校養成部及び研修部の機能強化の取組みを引き続き実施

【令和5年度の主な取組み】

- 文部科学省の大学設置・学校法人審議会における審査への対応(令和5年8月末頃に認可見込み)
- 大学校舎や附属研究施設の建築、備品・図書等の購入、学事システムの整備等のキャンパス整備の実施
- 開学準備委員会による大学運営の準備
- 学生募集及び入学者選抜試験の実施
- 学生及び教員の住環境の整備を、最上地域の市町村及び最上総合支庁と連携して実施
- 附属農林大学校機能強化方針に基づき、附属校化する令和6年度からの農林大学校の教育計画策定及び実施準備



校舎外観イメージ図

【基本戦略2 活気あるしなやかな農村の創造】 戦略分野③基盤強化・強靱化 ～次世代の担い手が活躍できる生産基盤の強化と大規模災害等にも対応できる強靱な生産基盤の形成～

次世代人材の定着に向けた園芸団地形成推進プロジェクト(PJ13)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R2年)	R3年 実績値	R4年 目標値	R5年 目標値	R6年 目標値
大規模園芸団地の数(累計)	20団地	21団地	21団地 (実績値)	26団地	28団地
果樹団地の面積(累計)	0ha (R3)	-	20ha	40ha	60ha

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

＜令和4年度の主な取組状況＞

- 園芸団地形成に向けた支援体制整備、団地整備支援
 - ・園芸団地の要件緩和、園芸団地化プロジェクトチーム会議を開催(6/27)、地区ごとに団地化支援チームを設置し団地掘り起こしを実施
- 先行投資型果樹団地形成に向けた支援体制整備、団地整備支援
 - ・生産者代表と関係者を含めた「果樹産地再生戦略プロジェクト会議」を設置し、会議を開催(5/7)
 - ・各総合支庁において事業推進のための「果樹産地再生戦略地域推進対策チームを設置」、担当者会議の開催(4、7、11、12月)
 - ・事業中核支援機関である「やまがた農業支援センター」と総合支庁が中心となり、各地域で個別の事業説明と活用に向けた意向調査を随時実施し、事業取組意向を示した2産地へ事業計画策定に向けた支援実施

＜令和4年度の取組みの評価・課題＞

- ・事業要件等を見直し、団地形成への働きかけを行ったが、新たな園芸団地の形成には至らず、引き続き、プロジェクトチームによる団地の掘り起こしが必要
- ・既存団地2地区で、機械・施設等の整備を実施



きゅうり団地(鶴岡市)

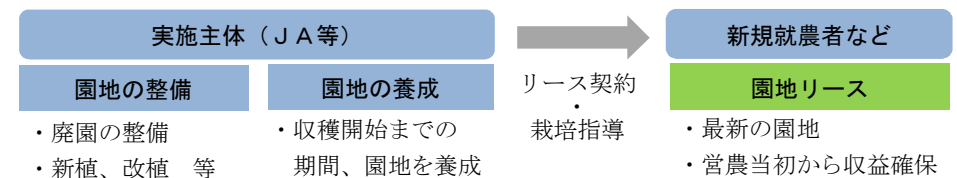
【今後の推進方向】

- 地区ごとに園芸団地・果樹団地化支援チームを設置して、新たな園芸団地形成に向けた合意形成や団地化計画の策定を支援
- 既存園芸団地の販売額の目標達成に向けて、団地化支援チームが継続的に支援
- 国補助事業等を活用し、大規模園芸団地形成に必要な生産施設の整備や農業機械導入を支援

【令和5年度の主な取組み】

- 園芸団地及び果樹団地の形成に向けた支援体制の整備
 - ・園芸団地化推進プロジェクトチーム会議の開催(5月、2月)
 - ・園芸団地化推進プロジェクト会議の開催(9月)
- 園芸団地の整備への支援
 - ・各種補助事業の募集から交付決定までの手続きを遅滞なく実施
- 先行投資型果樹団地の形成に向けた支援体制の整備
 - ・事業推進に係る情報共有のための担当者会議の開催(4月以降3回)
 - ・令和4年度に設置された各総合支庁単位の「果樹産地再生戦略地域推進対策チーム」が中心となつての実施地区掘り起こし(随時)
 - ・果樹産地再生戦略プロジェクト会議の開催(3月)
- 先行投資型果樹団地の整備への支援
 - ・計画策定中及び取組意向のある産地に対して、各種補助事業の申請から交付決定までの手続きが遅滞なく実施できるよう支援

[先行投資型果樹団地のイメージ]



【基本戦略2 活気あるしなやかな農村の創造】 戦略分野③基盤強化・強靱化 ～次世代の担い手が活躍できる生産基盤の強化と大規模災害等にも対応できる強靱な生産基盤の形成～

次世代人材の定着に向けた園芸団地形成推進プロジェクト(PJ13)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R1年度)	R3年度 実績値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
水田畑地化整備面積(累計)	2,580ha	3,130ha	3,350ha	3,630ha	4,000ha

【今後の推進方向】

- 園芸団地化に向けた基盤整備(水田畑地化基盤強化対策事業等)を実施
- 引続き水田から高収益作物への転換に向けた、排水改良・地下かんがい等の畑地化・汎用化を推進するとともに、園芸作物の導入に対する支援

【令和5年度の主な取組み】

- 水田農業の高付加価値化に向けた基盤整備
 - ・基盤整備実施地区における新たな園芸団地の発掘や、新たな担い手の確保・育成が可能となる園芸団地の形成に向けた基盤整備を支援
 - ・水田畑地化事業による水田の畑地化・汎用化の推進と、排水機能が低下している暗渠排水施設等の機能回復を支援

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

<令和4年度の主な取組状況>

- 大規模集積団地の整備支援
 - ・園芸作物栽培への転換を後押しするため、園芸団地の整備や水田畑地化・汎用化の基盤整備を支援
- 水田農業の高付加価値化に向けた基盤整備
 - ・区画整理及び地下かんがい工等を5地区で実施し、高収益作物への転換を推進
 - ・新たな園芸作物の導入に向け栽培実証ほ場を9地区に設置

<令和4年度の取組みの評価・課題>

- ・園芸作物の導入に向けた実証ほ場や園芸団地化に必要な区画整理を行うほか、水田の畑地化・汎用化を行うことにより水田における高収益作物への転換を後押ししている
- ・基盤整備を契機とした新たな園芸団地の形成には至っていない



地下かんがいの施工(川西町)



さといもの栽培実証ほ(鶴岡市)

【基本戦略3 魅力ある稼げる農林水産業の追求】 戦略分野⑨畜産 ～山形生まれ山形育ちの畜産物の生産拡大と安全・安心な生産・供給体制の構築によるブランド力の向上～

地域で支える畜産生産基盤強化プロジェクト(PJ33)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R2年)	R3年 実績値	R4年 目標値	R5年 目標値	R6年 目標値
畜産産出額	361億円	392億円	404億円	413億円	423億円

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

＜令和4年度の主な取組状況＞

- 肉用牛や酪農経営の後継者等の若手生産者を主な対象とした研修会の開催
- ・和牛増頭運動の取組みとして、総合支庁や関係団体と、担い手育成のための巡回指導の状況確認や今後の計画を検討(8月、3月)
- ・生産性向上をテーマに、担い手を対象とした研修会を開催(2月)
- ・県内6酪農ヘルパー組合の活動に支援(4月～3月)
- 農水事業及び県単補助事業を活用して、規模拡大のための施設整備や省力化・生産性向上のための機械導入を支援
- ・畜産所得向上支援事業(県単)において、19地区(事業費約2.8億円)の施設整備・機械導入等を支援(～3月)
- ・畜産クラスター事業(施設整備事業)(農水事業)により新規2地区(事業費計約18億円)の施設整備の支援(工程管理)や、令和5年度の要望取りまとめと計画作成を支援
- ・畜産クラスター事業(機械導入事業)(農水事業)は45取組主体から計84件の要望があり、44取組主体の計83件が採択(約2.3億円)され、これらの計画作成を支援

＜令和4年度の取組みの評価・課題＞

- 施設整備や機械導入への支援により、担い手の生産基盤の強化が着実に進んでいる
- 畜産経営の安定化と所得向上に向け、規模拡大や生産性向上等の取組みを引き続き地域ぐるみで支援していく必要がある

【今後の推進方向】

- 地域の中心となる畜産担い手の育成
- 畜産経営の安定化と畜産産出額423億円の達成に向け、家族経営等の中小畜産農家の生産性向上や規模拡大を図るための取組みを支援

【令和5年度の主な取組み】

- 後継者や新規就農者の担い手を継続的に育成・確保するための研修会を開催
- ・乳用牛ベストパフォーマンス実現セミナー(7月)
- ・和牛塾(2月)
- ・酪農ヘルパー組合活動への支援
- 畜舎等の生産基盤強化への支援
- ・畜産所得向上支援事業(県単)による施設整備・機械導入等への支援
- ・畜産クラスター事業(農水事業)による規模拡大を図るための施設整備等を支援



畜産クラスター事業で整備した牛舎



担い手を対象とした和牛塾

【基本戦略4 「やまがた森林ノミクス」の加速化】 戦略分野⑫人材育成・地域づくり ～林業を支える人材の育成や事業体の強化と
県民総参加による魅力ある地域づくりの推進～

林業を支える人材育成と事業体強化プロジェクト(PJ50)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R2年)	R3年 実績値	R4年 目標値	R5年 目標値	R6年 目標値
林業の新規就業者数(4年間の累計)	237人 (H28～R1年度)	61人 (R3年度)	140人	210人	280人

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

<令和4年度の主な取組状況>

- 「意欲と能力のある林業経営者」等の育成強化
 - ・森林経営管理法に基づく「意欲と能力のある林業経営者」等の公募・公表、経営力強化に関する研修会の実施
 - ・関係団体等と連携した、林業事業体の雇用管理の改善や事業の合理化、労働災害防止等に向けた指導・支援
- 林業経営を担う人材の育成
 - ・農林大学校林業経営学科学生への緑の青年就業準備給付金の給付
 - ・新規就業希望者を対象とした講習会、就業ガイダンスの開催
 - ・森林施業プランナーなど林業技術者を対象とした技術研修会の実施

<令和4年度の取組みの評価・課題>

- 「意欲と能力のある林業経営者」等の育成強化
 - ・「意欲と能力のある林業経営者」等による計画的な森林経営管理の実施など、林業事業体の経営力強化が必要
- 林業経営を担う人材の育成
 - ・林業事業体の中核を担うフォレストリーダーや森林施業プランナー等の現場技術者は着実に増加しているが、収益性の高い林業経営を実践できる人材の育成が必要
 - ・新規就業者を着実に確保するため、関係団体等と連携した雇用情報の収集・提供、課題解決に向けた事業体の個別指導が必要

【今後の推進方向】

- 「意欲と能力のある林業経営者」等の育成強化
 - ・経営者向けの研修や木材生産等の現場管理技術向上の研修等による林業事業体の経営力向上
- 林業経営を担う人材の育成
 - ・農林大学校林業経営学科での人材育成や就業希望者向けの体験研修等による将来の林業経営を担う人材の育成・確保

【令和5年度の主な取組み】

- 「意欲と能力のある林業経営者」等の育成強化
 - ・「意欲と能力のある林業経営者」等の公募・公表、林業事業体の経営力強化を図る研修会の開催
 - ・関係団体等と連携した、林業事業体の雇用管理の改善や事業の合理化、労働災害防止等に向けた指導・支援
 - ・労働環境の改善やICT技術の導入等による事業の合理化など、事業体のニーズに応じたオーダーメイド型の支援
- 林業経営を担う人材の育成
 - ・高校生対象の林業体験研修や林業就業希望者向けガイダンスの実施
 - ・「森林施業プランナー」や「フォレストリーダー」など、林業の現場技術者を対象にした研修会の開催
 - ・農林大学校林業経営学科学生への緑の青年就業準備給付金の給付



農林大学校林業経営学科の学生と実習状況

【基本戦略5 水産業の成長産業化】 戦略分野⑩海面漁業～海面漁業の新規就業者の育成・確保とスマート漁業導入や付加価値向上に向けた技術の推進による海面漁業の成長産業化～

海面漁業の成長産業化に向けた経営基盤強化プロジェクト(PJ60)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R2年)	R3年 実績値	R4年 実績値	R5年 目標値	R6年 目標値
新規漁業就業者数(単年度)	5名	8名	7名	20名	20名

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

＜令和4年度の主な取組状況＞

- 国や県の制度を使い就業者確保のための研修を行い、令和4年度に2名が新規漁業就業者となった
- ・山形県の漁業経営スタイルを紹介する冊子とPR動画を作成
- ・国と県の漁業研修制度により、令和4年度3名の漁業研修を実施
- ・新規独立漁業者に対して、新たに所得補償を実施(令和4年実績5名)
- ・コロナ禍の影響で漁業就業への動機づけとなる県内高校生アルバイト体験は中止
- ・漁業者の生産性、所得の向上のための代船建造・漁具更新への支援による漁業経営の効率化を促進
- 担い手育成事業の制度の拡充を行い、内水面漁業でも同様の支援を可能とした

＜令和4年度の取組みの評価・課題＞

- 水産物の安定供給、地域の活性化に寄与していくために、漁業の担い手の確保・育成への取組みを引き続き実施することが必要
- 漁業就業の動機付けの強化、漁業就業のための技術習得の場の提供と研修生の生活支援を引き続き実施することが必要

【今後の推進方向】

- 本県の漁業経営体数は、359経営体(平成25年度)から284経営体(平成30年度)に減少し、65歳以上の割合も51%と高齢化が進んでいることから、新規就業者の確保・定着が必要
- きっかけづくりから就業後のフォローアップまできめ細やかな支援体制が必要
- 令和4年度に作成した冊子とPR動画を活用した効果的なPRを実施

【令和5年度の主な取組み】

- 平成8年に開設した漁業就業者育成センターをリニューアルし、「山形県漁業経営・就業支援センター」として開設。
- ・就業相談や研修制度、独立後のフォローアップなど段階に応じたきめ細かな支援を実施
- 山形県の漁業を紹介する動画や冊子等による漁業への動機付けから独立・定着の段階に応じた体系的な支援や漁業・漁村体験機会の創出による新規就業者の育成・確保
- 漁業者の生産性、所得の向上のための代船建造・漁具更新への支援による漁業経営の効率化を促進



写真. 漁業研修

【基本戦略3 魅力ある稼げる農林水産業の追求】基本戦略⑦果樹 ～「やまがた紅王」のブランド化をはじめとした収益性の高い果樹産地づくりの推進～

山形さくらんぼ世界一ブランド強化プロジェクト(PJ23)

【目標指標】

目標指標	現状値	R3年実績値	R4年目標値	R5年目標値	R6年目標値
さくらんぼ産出額	351億円 (H26～30年平均)	319億円	355億円	357億円	360億円

- オール山形による生産力・ブランド力の強化
- 高品質安定生産と厳選出荷の推進
 - ・令和3年の凍霜害を受け、防霜対策や結実確保対策が実施されたことから、着果量はほぼ平年並みであったが、6月下旬以降の高温によって、高温障害が発生し、収穫期後半に品質低下と収穫量の減少が見られた

【今後の推進方向】

- 「やまがた紅王(品種名:山形C12号)」の早期ブランド化を図るため、生産者登録制度によって知的財産の保護と、「佐藤錦」からの改植を基本とした導入を進めるとともに、栽培講座やコンテストの開催による大玉生産を推進し、早期に出荷ロットの確保と知名度向上を目指す
- 産出額の増加に向け、安定生産と厳選出荷の取組みを徹底するとともに、イベント等による消費喚起、販売促進にオール山形で取り組む

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

<令和4年度の主な取組状況>

○「やまがた紅王」のプレデビュー(先行販売)

- ・「やまがた紅王」ブランド化プロジェクト会議を開催(5/31、8/23、12/1)
- ・出荷説明会(6/10)、栽培研修会(6/15～16)
- ・県内プレス向けプレデビューイベント(6/23:文翔館)
- ・最上級規格「やまがた紅王 プレミアム」の公表(12/22)



○オール山形による生産力・ブランド力の強化

- ・山形さくらんぼブランド力強化推進協議会を開催(4/28、9/13)
- ・山形さくらんぼキックオフイベント(6/3:霞城セントラル)

○高品質安定生産と厳選出荷の推進

- ・凍霜害防止キャラバン(4/7～)
- ・結実確保キャラバン(4/20～:山形市黒沢)
- ・高品質生産・出荷キャラバン(5/17～:天童市大町)



キックオフイベント(6/3)

<令和4年度の取組みの評価・課題>

○「やまがた紅王」のプレデビュー(先行販売)

- ・県統一推奨パッケージや販売開始基準日を設定し、計画数量の5～6tが出荷された
- ・3L以上の階級割合が少なく、2Lの割合が多かった
- ・等級は概ね良好であったが、一部着色の濃すぎる果実が散見された
- ・県内では多くのメディアに取り上げられ、消費者の注目は高かったが、県外での認知度が低かった



先行販売の様子

【令和5年度の主な取組み】

○「やまがた紅王」本格デビューに向けた高品質生産とブランド化推進

- ・先行販売の課題に対応した生産・流通・販売対策の実施
- ・大玉栽培講座の開催(3月・5月)
- ・出荷開始目安と集荷開始時期の設定
- ・「やまがた紅王 プレミアム」の流通開始
- ・世界一! 「やまがた紅王」大玉コンテストの開催
- ・高品質大玉生産のための技術開発と技術移転



ギフト用パッケージ

○オール山形による生産力・ブランド力の強化

- ・山形さくらんぼブランド力強化推進協議会を核として、主産地JA・流通関係・市町・県が連携して、防霜対策、結実確保、高品質安定生産、及び厳選出荷等の生産から販売までの取組みをオール山形で推進

○高齢化に対応した産地基盤の強化

- ・省力・軽労働な新たな仕立て方の技術開発と導入推進
- ・1日農業バイトアプリdayworkの活用と新規労働力の掘り起こし

【基本戦略3 魅力ある稼げる農林水産業の追求】 戦略分野⑨畜産 ～山形生まれ山形育ちの畜産物の生産拡大と安全・安心な生産・供給体制の構築によるブランド力の向上～

県産銘柄豚評価向上・販路拡大プロジェクト(PJ36)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R1年)	R3年 実績値	R4年 実績値	R5年 目標値	R6年 目標値
豚の飼養頭数	164,600 頭	166,600 頭	184,900 頭	170,000 頭	175,000 頭

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

<令和4年度の主な取組状況>

- 県産銘柄豚の生産拡大と、関係団体と連携した各種イベントや商談会等でのPR活動により消費・販路を拡大
- ・山形県産豚肉銘柄推進協議会及び(公社)山形県畜産協会と連携したプレゼントキャンペーンを(公社)畜産協会のHP上で実施(6月～7月)
- ・山形県産豚肉銘柄推進協議会と連携し、アランマーレ(女子プロバレーボールチーム)のシーズン開幕前記者会見にあわせて県産銘柄豚を贈呈するとともに、アランマーレのSNSに掲載(10月)
- ・山形県産豚肉銘柄推進協議会と連携し、県産銘柄豚を食材とした調理実習を山形調理師専門学校にて実施(12月)
- ・おいしい山形HPで山形県産豚肉銘柄推進協議会会員の取扱店舗情報を更新(1月)
- 優良種豚の人工授精用精液供給により、県産豚肉の品質向上を推進
- ・養豚研究所から県内養豚農家に対し改良型デュロック種の精液1,605本を供給(4月～3月)
- ・(一社)山形県系統豚普及センターから県内養豚農家に対し、発育性に富む改良型ランドレース種由来の母豚を848頭供給(4月～1月)

<令和4年度の取組みの評価・課題>

- 山形県産豚肉銘柄推進協議会との連携によるPR活動は、山形の銘柄豚の知名度向上に貢献している
- 優良種豚の精液や発育性に富んだ改良型ランドレース種由来の交雑母豚が県内養豚農家へ順調に供給され、肉豚生産に寄与している

【今後の推進方向】

- 「オール山形」体制で県産銘柄豚の消費拡大を図るため、山形県産豚肉銘柄推進協議会等と連携したPRを実施
- 県が作出した繁殖性や肉質に優れた種豚を利用した県産豚肉の生産拡大と、県産銘柄豚の知名度向上により販路拡大を推進

【令和5年度の主な取組み】

- 県産豚肉のPR等による銘柄化の推進
- ・県内を拠点に活動するプロスポーツチーム等とタイアップした知名度向上イベント等の実施
- ・山形県産豚肉銘柄推進協議会等と連携し、県農林水産祭をはじめとした各種イベント、商談会、食材提供等で県産銘柄豚のPR活動を実施
- 改良型種豚の利用推進
- ・養豚研究所から改良型デュロック種の精液を供給
- ・(一社)山形県系統豚普及センターから改良型ランドレース種由来の交雑母豚を供給



改良型デュロック種の雄豚



V2リーグアランマーレとのタイアップPR

【基本戦略3 魅力ある稼げる農林水産業の追求】 戦略分野⑨畜産 ～山形生まれ山形育ちの畜産物の生産拡大と安全・安心な生産・供給体制の構築によるブランド力の向上～

県産鶏肉等生産・販路拡大プロジェクト(PJ37)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R1年)	R3年 実績値	R4年 実績値	R5年 目標値	R6年 目標値
肉用鶏の飼養頭数(やまがた地鶏を含む)	660千羽	677千羽	650千羽	680千羽	685千羽

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

＜令和4年度の主な取組状況＞

- 生産拡大に向けた支援
 - ・やまがた地鶏の飼育技術の向上や衛生管理に対する意識の向上を目的とした巡回指導調査の実施(7月～9月)
 - ・畜産所得向上支援事業(県単)により養鶏農家の生産基盤強化を支援
- やまがた地鶏振興協議会や産業労働部と連携し、各種イベント等でやまがた地鶏をPR
 - ・やまがた地鶏振興協議会と連携し、山形ワイヴァンズ(プロバスケットボールチーム)のホーム開幕戦に地鶏肉を贈呈するとともに、山形ワイヴァンズのSNSに掲載(10/8)
 - ・やまがた地鶏振興協議会と連携し、やまがた地鶏を食材とした調理実習を山形調理師専門学校で実施(12/14)
 - ・やまがた地鶏取扱店情報の更新(1月)
 - ・やまがた地鶏振興協議会、(公社)山形県畜産協会と連携した飲食店への地鶏肉提供キャンペーンの実施(1回 10月～2月)

＜令和4年度の取組みの評価・課題＞

- 県内外の飲食店から食味に関する一定の評価を受けている
- 更なるやまがた地鶏の知名度向上や販路拡大のため、引き続きPR活動を実施していく必要がある

【今後の推進方向】

○肉用鶏や採卵鶏の規模拡大を支援するとともに、やまがた地鶏の新規参入者の確保や、養鶏全体の生産拡大と販路開拓・拡大を推進する

【令和5年度の主な取組み】

- 養鶏の生産拡大
 - ・養鶏の生産基盤拡大の支援
 - ・やまがた地鶏の新規参入者の確保と飼育技術の向上を支援
- やまがた地鶏・県産銘柄鶏等の販路拡大
 - ・やまがた地鶏振興協議会と協力のうえ、公式SNS(インスタグラム)を開設し、やまがた地鶏の魅力を発信
 - ・関係機関と連携してイベントや商談会等でやまがた地鶏をPR
 - ・県内を拠点に活動するプロスポーツチーム等とタイアップした、やまがた地鶏のPRイベントを実施
 - ・(公社)山形県畜産協会と連携した、高付加価値鶏卵・鶏肉の新たな販路の開拓



山形ワイヴァンズとの
タイアップPR



調理師専門学校での
調理実習

【基本戦略3 魅力ある稼げる農林水産業の追求】 戦略分野⑩6次産業化 ～豊かな農林水産物と魅力ある地域資源を活かした農林水産業を起点とした新たな付加価値の創出～

6次産業化による多彩なアグリビジネス振興プロジェクト(PJ43)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R2年)	R3年 実績値	R4年 実績値	R5年 目標値	R6年 目標値
産地直売所 販売額	124億円	126億円	130億円	135億円	140億円

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

＜令和4年度の主な取組状況＞

- 農林漁業者自らの6次産業化の取組みに必要な機械等の導入を支援(6件)
- 6次産業化ネットワークを形成した市町村が生産者と実需者とのマッチング交流会を実施
- 行動計画に掲げた将来像実現に向けて、農業生産活動等の維持・発展に向けた取組みの立上げ(試行)を3地区で支援
- 地域資源を活用した付加価値を創出する取組みの検討・試行を行う上で最低限必要な機器等の導入支援を13地区において実施
- 商品力の高い農産加工品づくりへの支援として、農産加工実践者研修会(14回)、共通課題研修(27回)、農産加工品求評会(8回)を開催
商品化数:村山20、最上4、置賜5、庄内6

＜令和4年度の取組みの評価・課題＞

- 地域ネットワークは35市町村で構築されたが、実際に6次産業化の取組みを行っている市町村は限定的であるため、実践事例や活用できる事業の情報の共有が必要
- 加工事業者向けの研修会開催で、安全で商品力の高い商品開発に繋がった。今後、より高度な加工技術習得が求められるため、さらなるレベルアップを図る研修会開催が必要

【今後の推進方向】

- 農林漁業者等による6次産業化の定着・発展を図るため、事業化、商品化、販路拡大まで、発展段階に応じたきめ細やかな支援を実施
- 市町村等を中心とした地域の多様な主体が連携・協同した6次産業化ネットワークを活用した取組みを促進
- 中山間地域の集落等における、農業生産活動等の維持・発展に向けた先進的な取組みを総合的に支援
- 総合支庁毎に、改正食品衛生法に基づく研修会や専門家による相談会を開催し、商品力の高い農産加工品づくりを行う経営体を育成

【令和5年度の主な取組み】

- 農林漁業者自らの6次産業化の取組みに必要な機械導入等への支援を継続実施
- 中山間地域の集落における、農業生産活動等の維持・発展に向けた取組みの立上げ支援と地域資源を活用した付加価値を創出する取組みの検討・試行を行ううえで最低限必要な機器等の導入支援
- 商品力の高い農産加工品づくりを目指す実践者に共通する課題解決のための研修会開催や個別課題解決に向けた専門家派遣、商品改善と販路開拓のためのマッチング求評会の開催



農産加工実践者研修会
(米粉餡を使った加工品づくり)



農産加工品求評会
「美味しむらやま見本市」

【基本戦略3 魅力ある稼げる農林水産業の追求】 戦略分野⑩6次産業化 ～豊かな農林水産物と魅力ある地域資源を活かした農林水産業を起点とした新たな付加価値の創出～

6次産業化推進基盤強化プロジェクト(PJ44)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R2年)	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値
6次産業化支援機関等が支援した新商品の流通・販売件数(累計) ※括弧内はうち米粉食品	30件	48件	72件 (14件)	75件 (8件)	90件 (10件)

※R4は実績見込み

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

＜令和4年度の主な取組状況＞

- 産学官金が連携した「やまがた農山漁村発イノベーションビジネススクール」の実施(10月26日～ 修了者14名)
- 山形農山漁村発イノベーションサポートセンターを設置し、地域プランナー(23名)の派遣等により、6次産業化等の取組みに対する助言・指導等を実施(随時)
- 食品加工技術相談窓口では、R5.3月末まで728件の相談に対応
- 県産米粉を使用した商品開発への支援(事業者数:7件)
- 県産米粉を使った商品開発を目指す事業者に対する集合研修や先進地視察等を実施(15件実施、延べ約200名)

＜令和4年度の取組みの評価・課題＞

- 取組みの継続的かつ安定的な実施やさらなる事業の拡大に向けて、支援機関と連携し、取組みの段階に応じた助言・指導を継続して行い、課題解決と6次産業ビジネスの発展を支援。
- 食品製造業者等の県産米粉を使った商品の開発の機運や消費者の米粉への関心は高まりつつあるが、実際の商品開発、消費拡大、米粉用米の生産拡大に結び付くよう、今後も支援の継続が必要。

【今後の推進方向】

- 6次産業化等を推進する人材育成を図るとともに、支援機関等による相談・助言、技術指導体制をより一層充実することにより、6次産業化の推進基盤を強化する。

【令和5年度の主な取組み】

- 産学官金が連携した「やまがた農山漁村発イノベーションビジネススクール」(仮称)の実施
- 支援機関相互の連携強化の推進(随時)
- 技術移転や共同研究による商品開発支援、食品加工支援ラボを活用した個別の試作支援を継続
- 県内食品製造業者や農林漁業者が取組む県産米粉を利用した加工食品の新商品開発・改良に向けた支援
- 学校給食用米粉パンの製造技術の高位安定化を図る試験研究(新規)



やまがた農山漁村発イノベーションビジネススクール 開講式



県産米粉パンの新商品開発のためのベーカリー向け集合研修

【基本戦略4 「やまがた森林ノミクス」の加速化】 戦略分野⑭県産木材の加工流通体制強化・付加価値向上～需要に応じた加工流通体制の構築による県産木材の付加価値向上～

県産木材の加工流通体制強化と付加価値向上プロジェクト(PJ56)

【目標指標】

目標指標	現状値 (H30年)	R3年 実績値	R4年 目標値	R5年 目標値	R6年 目標値
JAS製品等 出荷量(木材)	77千m ³	95千m ³ (R3年次)	96千m ³	98千m ³	100千 m ³

【今後の推進方向】

- 需要者ニーズに対応した県産木材の加工流通体制の強化及び安定的な供給体制の構築
- 製材品の品質・性能を証明するJAS認証の取得促進
- 広葉樹材の利用拡大

【令和5年度の主な取組み】

- 県産木材の製材・加工施設等の整備促進
 - ・製材・加工施設等の整備に対する支援制度の情報発信
- 県産木材の付加価値向上の促進
 - ・木材団体と連携し、品質・性能の確かなJAS製材品を普及
- 需要に応じた県産木材の安定的な流通の促進
 - ・流通体制強化のため、グラップル付きトラックの導入支援(1台)
 - ・木材の需給情報を共有するプラットフォームの利用を促進するため、関係団体が実施する取組みへの助言及び協力
- 広葉樹材の利用拡大
 - ・広葉樹の流通を促進するための保管施設の整備を支援

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

<令和4年度の主な取組状況>

- 県産木材の付加価値向上の促進
 - ・木材団体と連携し、品質・性能の確かなJAS製材品を普及
- 需要に応じた県産木材の安定的な流通の促進
 - ・流通体制強化のため、グラップル付きトラックの導入を支援(2台)

<令和4年度の取組みの評価・課題>

- 「県産木材の製材・加工施設等の整備促進」、「広葉樹材の利用拡大」及び「県産製材品の輸出促進」
 - ・物価高騰やウッドショック等の影響により事業を中止
- 県産木材の付加価値向上の促進
 - ・製材・加工施設等の増設により、JAS製品等出荷量は着実に増加
- 需要に応じた県産木材の安定的な流通の促進
 - ・需要者側のニーズに対応した県産木材を安定供給するため、木材の需給情報を共有するプラットフォームの利用を促進する取組みが必要



グラップル付きトラックの導入支援



広葉樹材の保管施設整備支援

【基本戦略4 「やまがた森林ノミクス」の加速化】 戦略分野⑮県産木材の利用促進・特用林産の振興～「しあわせウッド運動」の展開や都市との交流等の促進、山形の山菜・きのこのブランド力向上～

県産木材利用促進プロジェクト(PJ57)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R1年)	R3年 実績値	R4年 目標値	R5年 目標値	R6年 目標値
民間施設の木造化率	37% (R1年度)	39% (R3年度)	43%	46%	50%

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

＜令和4年度の主な取組状況＞

- 公共・民間施設の木造化・木質化等の推進
 - ・県産木材を利用した新築住宅、民間施設建築への支援
- 県産木材を活用する「しあわせウッド運動」の推進
 - ・幼児期から木に親しむ機会を提供するため、積み木を保育所に配布
- 林工連携等による製品・技術開発の推進
 - ・林工連携コンソーシアム研修会の開催と新製品開発等への支援
- 都市との交流促進等による県産木材製品の県外への販路拡大
 - ・首都圏において県産木材製品をPRする取組みを支援
- 木質バイオマスの利用促進
 - ・木質バイオマス利用施設の整備を支援

＜令和4年度の取組みの評価・課題＞

- ・人口減少に伴い新築住宅着工戸数の減少が見込まれることから、新築住宅、民間施設建築の支援による、県産木材のさらなる利用促進が必要
- ・県内全域の保育所へ積み木配布が完了(R1～R4)。今後とも、各世代に対し木製品の良さなどの普及により、県産木材の利用拡大につなげることが必要
- ・県産木材利用推進のため、引き続き他産業との連携による新技術や新製品開発等の支援が必要
- ・木質バイオマス発電施設の燃料となるCD材の需要が増加しているため、木材の安定供給が必要

【今後の推進方向】

- 県産木材の利用を拡大するため、民間施設の木造化支援等を強化するとともに、しあわせウッド運動や県産木材製品の首都圏でのPRを推進
- 林工連携による製品開発等の情報共有や先端技術の実証、木質バイオマスの利用を推進

【令和5年度の主な取組み】

- 公共・民間施設の木造化・木質化等の推進
 - ・建築士会等と連携し、県産木材を活用した中・大規模の木造建築等の設計に必要な知見・技術を習得するための講習会を開催
 - ・県産木材を利用した新築住宅、民間施設建築への支援
- 県産木材を活用する「しあわせウッド運動」の推進
 - ・県内大型商業施設における県産木製日用品展示会の開催
- 林工連携等による製品・技術開発の推進
 - ・山形県林工連携コンソーシアムによる産学官のネットワークを活用した研修会の開催や製品・技術開発への支援
- 都市との交流促進等による県産木材製品の県外への販路拡大
 - ・首都圏において県産木材製品をPRする取組みを支援
- 木質バイオマスの利用促進
 - ・県内で生育している早生樹の適応評価等を実施



首都圏における県産木材製品のPR



木質バイオマスの利用

【基本戦略5 県産水産物の利用拡大】 戦略分野⑩県産水産物の利用拡大～「新しい生活様式」に対応した付加価値の向上に向けたバリューチェーンの形成による県産水産物の消費拡大～

県産水産物の利用拡大プロジェクト(PJ62)

【目標指標】

目標指標	現状値 (R1年)	R3年 実績値	R4年 実績値	R5年 目標値	R6年 目標値
県産水産物の 県内陸部にお ける流通割合	6.3%	5.2%	6.0%	10.0%	11.0%

【令和4年度の主な取組み状況、評価・課題等】

<令和4年度の主な取組状況>

- 県産水産物の認知度向上
 - ・庄内浜の魚まつりin山形(11/6)、庄内浜の魚まつり～冬の陣～(1/22)を開催と水産加工品の販売
 - ・旬のお魚キャンペーン(春5/16～6/30,秋10/1～11/30)の実施
- 県産水産物の付加価値・販売力向上
 - ・おいしい魚加工支援ラボを活用した商品開発(加工品の試作での利用団体数8団体)
 - ・おいしい魚加工支援ラボによる低利用魚・未利用魚を使用した加工品の開発(魚醤の試作、採卵後サクラマスジャッキー試作、アカラの刺身利用の検討、小型イワシのオイルサーディンの試作)
- 県産水産物の消費拡大
 - ・水産加工品、冷凍アユ、むくり鮎等の職員向けあっせん販売

<令和4年度の取組みの評価・課題>

- 「旬の魚キャンペーン」や「やまがた庄内浜の魚応援店スタンプラリー」の継続実施により、認知度の向上は図られている。今後は、ポストコロナを見据えた水産物のバリューチェーン形成と消費拡大を図る必要がある

【今後の推進方向】

- 水産加工品の量販店等での対面販売機会の創出
- おいしい魚加工支援ラボによる商品開発支援
- 地域産業コーディネーターによる漁業者等の事業展開支援

【令和5年度の主な取組み】

- 量販店等での水産加工品生産者による販売会の実施支援
- 漁業者による商品開発支援
- 水産加工品リストの作成
- 流通関係者に向けた庄内浜産水産物や加工品のPR
- 水産加工品の販売機会の創出



量販店での旬のお魚キャンペーン



庄内浜の魚まつり～冬の陣～(霞城セントラル)



やまがた庄内浜の魚応援店スタンプラリーパンフレット